

感謝とは・・・

平成31年度も残りわずかとなりました。保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。これからも教職員一同、一丸となつてはごろもっ子の育成に力を傾けてまいりますので、宜しくお願い致します。

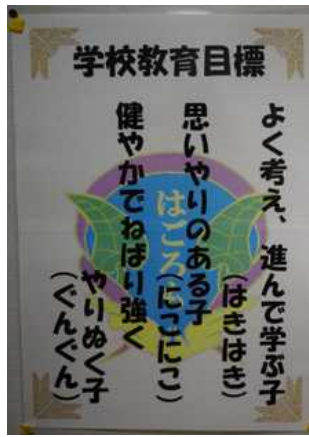
さて、日本語でもっとも美しく大切な言葉が「ありがとう」という感謝の言葉だと私は思います。はごろも小学校の教育目標の二番目に「思いやりのある子」があります。思いやりのある子とは、感謝の心を持ち、「ひとや動植物、もの」に優しく接することができる子を意味します。

はごろも小学校において、「思いやりのある子」の育成を図る場面は、日々の授業や学校行事、その他の教育活動があります。

先週3月2日に実施しましたPTA作業においては、2年・4年・6年の保護者の皆様、部活関係者（コーチや父母会、選手児童）の皆様が参加し、校舎や体育館の清掃等にご尽力頂きました。

また、今回は、「愛校心を持たせるために、子どもたちを参加させたい」という6学年担任の思いがあり、6年生児童も加わってのPTA作業となりました。

今年度は、子どもたちを参加させましたが、教育的意義は大きかったと思います。そこで、次年度以降も卒業生や部活の児童を関わらせ、作業を通して、お世話になった教室や体育館、校舎に「一年間ありがとうございます。2019年度もよろしくお願ひします。」という「施設（もの）」への感謝する気持ちを育んでいきたいと考えています。



はごろも

学校通信十二号（平成三十年度）

平成三十一年
三月六日
発行 校長 仲村 宗男

通録24号



はごろも小の自慢

毎朝、正門前で児童会の皆さんが中心になってあいさつ運動を頑張っています。

大規模校になったはごろも小学校の今後

はごろも小学校は、児童数が年々増加している現状があります。過去3年間の児童数は、平成28年度が805名、平成29年度が849名、平成30年度が881名に達し、次年度・平成31年度は、900名を大幅に上回り、推計922名に達します。

また、那覇空港の臨海道路が完成し、交通アクセスが数段に良くなったことやコンベンションセンター、大型スーパー等が隣接し、人気のあるスポットになっています。校区内に転居を希望する方も大型高層マンションが建設され、近い将来、1000名以上の児童数になることが予想されます。

このような状況の中、教室数を確保するため新世代教室等を活用し、次年度までは対応できる取組を図ってまいりました。

しかし、2020年度以降については、教室確保がさらに厳しい状況になることが予想され、今後も市教育委員会に、教室の増築を依頼してまいります。また、増築スペース以上に児童数が増える場合の対応についても検討課題として考えて頂くようお願いしてまいります。

はごろもっ子の日常



給食費・教材費の納付をお早めに！（ご協力）

学校だより9号でもお知らせ致しましたが、学校給食は保護者の皆様が納めた費用でまかなわれております。宜野湾市は、小学生の給食費半額補助を実施しています。しかし、給食費の納入がひと月でも滞ってしまった場合、全額支払いとなることから、どうぞ、年度内（三月末）までにお早めに納入くださいますよう、お願い致します。給食費のお支払いに関して、お困りのある場合は気軽にご相談下さい。

また、学級の教材費については、年度末（3月中旬～後半）に学級担任が業者等に支払うことから、滞ってしまった場合、業者に迷惑をおかけし、担任が負担するケースもあります。つきましては、趣旨をご理解の上、併せてご協力をお願い致します。

三月の行事

- ① 三月九日 真志喜中学校卒業式
- ② 三月十九日 お別れ集会
- ③ 三月二十日 第五回 六十卒業式
- ④ 三月二十一日 ※一年生、四年生は、お休み
- ⑤ 三月二十二日 春分の日（公休日）

修了式（一校時）
離任式（四校時）
（PTA行事）
ありがとうございます

